

AO入試・受験スケジュール

※出願手続他詳細は必ず「令和2年度近畿大学工学部AO入学試験募集要項」をご確認ください。

1 入試要項を取り寄せる ※7月中旬発行予定

大学ホームページ内の以下の資料請求ページより、「令和2年度近畿大学工学部AO入学試験募集要項」を請求してください。

[資料請求ページ]
<https://formserv.jp/70381/1>

2 オープンキャンパスに参加 模擬授業体験実施!

■オープンキャンパス(AO入試説明会を実施)

7/20(土)、8/24(土)、8/25(日)

オープンキャンパスで、大学の環境や設備などに直接触れて、自分の求める大学生活と合っているかを確かめてください。入試相談も受け付けます。また、「AO入試説明会」を行います。

入試相談(任意)

[入試相談の目的]

志願者が大学で学習したいことが本学でできるか、また志願者の将来の夢や目標を本学で達成することができるかといった志願者と本学との相互理解を図ることを目的とします。

3 出願手続 ※紙の願書はありません。 「近大エコ出願」(インターネット出願)となります。

■出願期間:令和元年**9/25(水)**
~元年**10/3(木)**(締切日消印有効)

■出願に必要な書類

- ①インターネット出願確認票
- ②調査書
- ③志望理由書 800字以内
 - なぜ本学部・学科を志望したのか
 - 入学後に何をしたいのか
 - あなたの自己アピール
- ④自己アピールのための資料(任意)

(例)資格・検定等の証明書のコピー
高校在学中の海外留学経験を証明する書類のコピー など

4 試験日

令和元年**10/19(土)**

■試験当日時間割(予定)

時間	9:30	9:30~9:45	10:00~10:50	11:00~11:50	13:00~
学科					
全学科	集合	諸注意	模擬講義	確認テスト	面接 (自己アピール含む)

■試験内容

①数学に関する模擬講義と確認テスト

(1)内容	大学で学ぶために必要な基礎的能力を確認するため、数学に関する模擬講義を受講し、その講義内容に関するノートを作成します。また、数学の能力を評価するための確認テストを実施します。
(2)出題範囲	数学I・数学II・ 数学A・数学B(数列・ベクトル)
(3)時間配分	1. 模擬講義(50分) 2. 確認テスト(50分)

②面接

(1)方式	個人面接
(2)試験官	志願学科の教員複数名
(3)時間	1人20~30分程度

③自己アピール(プレゼンテーション)

P.2の「自己アピール方法」を確認してください。

5 合格発表

令和元年**11/2(土)**

6 入学手続

■入学手続期間:令和元年**11/2(土)**
~2年**1/31(金)**

令和2年度 近畿大学工学部

(広島キャンパス)

AO入試について

数学に関する
模擬講義・ノート作成

×

数学の能力を評価
するための確認テスト

×

面接
(自己アピール含む)

近畿大学工学部のAO入試は専願ではありません。

AO入試では、

- 数学に関する模擬講義**の受講とその講義内容に関する**ノート作成**
- 数学の能力を評価するための確認テスト**
- 面接**(自己アピール含む)
- 出願書類**を多面的、総合的に判定し、**能力、適性、意欲**を有している人を選抜します。

近大 **エコ出願**

紙の願書はありません。簡単・便利な**インターネット出願**となります。

工学部への疑問・質問は電話、またはメールにてお問い合わせください。

[TEL]082-434-7004 [mail]nyushi@hiro.kindai.ac.jp

※お電話をいただく際は、市外局番が同一の地域内でも「082」からおかけください。月曜~金曜9:00~18:00※祝日、夏期・冬期休暇中を除く。



近畿大学
KINDAI UNIVERSITY

工学部・広島キャンパス
〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1番
URL <https://www.kindai.ac.jp/engineering/>

応募条件

下記の条件を3つ満たす者とします。

1. 夢(希望)をもっていること。
2. その夢(希望)の実現のために、**近畿大学工学部**で勉強することに強い意欲をもっていること。
3. 大学(各学科)で学修するために必要な**基礎的能力**をもっていること。
4. 国際的に活躍したい意欲をもっていること。

アドミッションポリシー

工学部は、近畿大学建学の精神に則り、持続可能な社会を築くための技術者・研究者として必要な高い人格と倫理観(人間性)、専門能力(専門性)及び国際化時代を生き抜く力(国際性)を実学教育のもとに育成します。このために、次のような人を求めています。

1. 工学部での学修に必要な基礎学力を有し、旺盛な学習意欲のある人。
2. 社会における互いの多様な価値観を理解し、これらを尊重することのできる倫理観のある人。
3. 自然との共生の大切さを理解し、社会に貢献できる新たな技術を創造しようとするチャレンジ精神のある人。
4. 国際的な視点に立って行動しようとする意欲のある人。

(入学者選抜の基本方針)

AO入試では、数学に関する模擬講義と確認テストに加え、面接及び出願書類によって、多面的、総合的な判定により、能力、適性、意欲を有している人を選抜します。

また、工学部に入学するまでに、次のようなことを身につけていることが望まれます。

基本的なコミュニケーション能力

国 語：基礎的な日本語の読解力、表現力、論理的な思考力

外国語：基礎的な語彙と構文を理解できる能力、考えを表現できる能力

数 学：数学I、数学II、数学III、数学A、数学B(数列・ベクトル)

理 科：「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」

各学科が求める基礎的能力を確認し、 高校の先生に相談しながら準備を進めましょう。

選考方法と各学科が求める基礎的能力		
	模擬講義・確認テスト	面接(自己アピール含む)
化学生命工学科	講義内容をまとめる能力、 講義の理解力、数学の能力。	生物、化学に興味、探究心があり意欲的に学ぶ強い意志があること。
機械工学科		物理、数学分野において理解力・考察力があること。機械工学を学ぶ意欲と自己の将来像や夢が明確であること。
ロボティクス学科		ロボットおよび関連分野に強い探究心を持っていること。
電子情報工学科		電子や情報の技術に関連する話題において、相手の話を聞き取り、自己の意見を表現するコミュニケーション能力があること。
情報学科		情報技術の基礎的事項に対する理解力があること。情報技術を学ぶ動機・意欲と探究心を持ち、自己の将来像が明確であること。
建築学科	建築、インテリアデザインに興味があり、積極的かつ意欲的に取り組む姿勢があること。	

募集学科および募集人員

学 科	募集人員
化 学 生 命 工 学 科	全学科で24名程度
機 械 工 学 科	
ロ ボ テ ィ ク ス 学 科	
電 子 情 報 工 学 科	
情 報 学 科	
建 築 学 科	

自己アピール方法

自身の夢の実現のため、これまで取り組んできた活動について説明し、その活動を通じて獲得した知識や能力を、大学でどのように発揮するのかについて面接の際に説明してください。

化学生命工学科	化学生命工学科で勉強したいことについて述べていただきます。										
機械工学科	「自己アピールポイントと機械工学との関わり」というテーマでこれまで経験したことや取り組みの中で得られた成果など、自己の行動力と粘り強さと、機械工学への興味と意欲について、発表していただきます。 <table border="1"><tbody><tr><td>(1)テーマ</td><td>自己アピールポイントと機械工学との関わり</td></tr><tr><td>(2)時間配分</td><td>1. 受験者の発表持ち時間(10分以内) 2. 質疑応答(10分)</td></tr><tr><td>(3)内 容</td><td>発表では①これまで自分が一生懸命に出来たことやそのためにどのような努力や活動をしてきたかの自己アピール、②そのとき遭遇した問題点やそれをどのように克服したかについて、③自分がどれだけ機械や機械工学に興味を持っているか、④自己アピールポイントを生かしてこれからどのように機械工学を学んでいきたいか、などのことがらが含まれていること。</td></tr><tr><td>(4)準備するもの</td><td>1. 説明内容に関する資料(A4サイズで5枚以内の(図や写真なども含む)資料で、字数は問いません) 2. 説明に使用する資料及び使用機器: 呈示資料として作品・模型・写真・成績などその他、図・グラフ・設計図・機械などを指します。 使用機器: 資料の呈示には、パワーポイント、かけ図など、数人の人が同時に見ることのできる形で準備してください。 (ホワイトボード・レーザーポインター・さし棒・ノートパソコン・プロジェクターおよびスクリーンなどは大学で準備します。なお、各自で使用しているノートパソコンを持参してもよい。)</td></tr><tr><td>(5)予習する内容</td><td>まず、行動力や粘り強さを説明するため、どんな時自分は力を発揮できたかよく自己分析をしてください。そして、何故自分は機械工学について学ぼうとするのかを考え、行動力や粘り強さが、機械工学の学びの中でどのように発揮できるかについて分かり易く説明できるようにしておいてください。</td></tr></tbody></table>	(1)テーマ	自己アピールポイントと機械工学との関わり	(2)時間配分	1. 受験者の発表持ち時間(10分以内) 2. 質疑応答(10分)	(3)内 容	発表では①これまで自分が一生懸命に出来たことやそのためにどのような努力や活動をしてきたかの自己アピール、②そのとき遭遇した問題点やそれをどのように克服したかについて、③自分がどれだけ機械や機械工学に興味を持っているか、④自己アピールポイントを生かしてこれからどのように機械工学を学んでいきたいか、などのことがらが含まれていること。	(4)準備するもの	1. 説明内容に関する資料(A4サイズで5枚以内の(図や写真なども含む)資料で、字数は問いません) 2. 説明に使用する資料及び使用機器: 呈示資料として作品・模型・写真・成績などその他、図・グラフ・設計図・機械などを指します。 使用機器: 資料の呈示には、パワーポイント、かけ図など、数人の人が同時に見ることのできる形で準備してください。 (ホワイトボード・レーザーポインター・さし棒・ノートパソコン・プロジェクターおよびスクリーンなどは大学で準備します。なお、各自で使用しているノートパソコンを持参してもよい。)	(5)予習する内容	まず、行動力や粘り強さを説明するため、どんな時自分は力を発揮できたかよく自己分析をしてください。そして、何故自分は機械工学について学ぼうとするのかを考え、行動力や粘り強さが、機械工学の学びの中でどのように発揮できるかについて分かり易く説明できるようにしておいてください。
(1)テーマ	自己アピールポイントと機械工学との関わり										
(2)時間配分	1. 受験者の発表持ち時間(10分以内) 2. 質疑応答(10分)										
(3)内 容	発表では①これまで自分が一生懸命に出来たことやそのためにどのような努力や活動をしてきたかの自己アピール、②そのとき遭遇した問題点やそれをどのように克服したかについて、③自分がどれだけ機械や機械工学に興味を持っているか、④自己アピールポイントを生かしてこれからどのように機械工学を学んでいきたいか、などのことがらが含まれていること。										
(4)準備するもの	1. 説明内容に関する資料(A4サイズで5枚以内の(図や写真なども含む)資料で、字数は問いません) 2. 説明に使用する資料及び使用機器: 呈示資料として作品・模型・写真・成績などその他、図・グラフ・設計図・機械などを指します。 使用機器: 資料の呈示には、パワーポイント、かけ図など、数人の人が同時に見ることのできる形で準備してください。 (ホワイトボード・レーザーポインター・さし棒・ノートパソコン・プロジェクターおよびスクリーンなどは大学で準備します。なお、各自で使用しているノートパソコンを持参してもよい。)										
(5)予習する内容	まず、行動力や粘り強さを説明するため、どんな時自分は力を発揮できたかよく自己分析をしてください。そして、何故自分は機械工学について学ぼうとするのかを考え、行動力や粘り強さが、機械工学の学びの中でどのように発揮できるかについて分かり易く説明できるようにしておいてください。										
ロボティクス学科	「ロボティクス学科で製作したいロボット」について、3分程度で面接時に述べていただきます。このとき受験者があらかじめ図、絵、模型などの資料を作成して、これを元に説明をしてもかまいません。										
電子情報工学科	電気電子技術や情報技術について興味を持つに至った経緯と今後の抱負について、3分程度で述べていただきます。なお、事前に準備した作品・模型・写真・図面・ノートパソコンなどを持参して説明してもかまいません。										
情報学科	「自己アピールポイントと情報技術との関わり」について、5分程度で面接時に述べていただきます。なお、事前に準備した図表やノートパソコンなどを持参して説明してもかまいません。										
建築学科	<table border="1"><tbody><tr><td>(1)テーマ</td><td>「建築と私」または「インテリアデザインと私」</td></tr><tr><td>(2)時間配分</td><td>1. 受験者の持ち時間(3分以内) 2. 質疑応答(7分)</td></tr><tr><td>(3)内 容</td><td>建築またはインテリアデザインに関することなら何でも結構です。自分の得意なこと、夢中になっていること、興味を持っていること、将来の夢などについて発表してください。また、それを大学での学習や卒業後の仕事においてどのように生かしたいかについても説明してください。例えば、「私の目指す建築家(技術者)像」、「私の好きな建築家(建築物)」、「私の好きなインテリアデザイン」、「私の考える災害に強い建築」、「私の考えるまちづくり」、「私の考える環境にやさしい建築」、「私の考える未来の建築」、「災害ボランティアで考えたこと」等。</td></tr><tr><td>(4)準備するもの</td><td>1. 説明内容に関する資料(必須) A4サイズ2枚以内の配布資料で書式や字数は問いません。図や写真、イラスト等を入れてもかまいません。 2. アピール資料(任意) 設計作品や図面、デッサン、ポスターなど、アピールに必要なものを提示することが出来ます。ただし、大学ではパソコン等の機材は準備できませんので、必要な方は各自で機材を持参し、面接委員数人が「同時に見られる形で準備してください。</td></tr><tr><td>(5)面 接</td><td>自己アピールと別に面接(10分)を行います。</td></tr></tbody></table>	(1)テーマ	「建築と私」または「インテリアデザインと私」	(2)時間配分	1. 受験者の持ち時間(3分以内) 2. 質疑応答(7分)	(3)内 容	建築またはインテリアデザインに関することなら何でも結構です。自分の得意なこと、夢中になっていること、興味を持っていること、将来の夢などについて発表してください。また、それを大学での学習や卒業後の仕事においてどのように生かしたいかについても説明してください。例えば、「私の目指す建築家(技術者)像」、「私の好きな建築家(建築物)」、「私の好きなインテリアデザイン」、「私の考える災害に強い建築」、「私の考えるまちづくり」、「私の考える環境にやさしい建築」、「私の考える未来の建築」、「災害ボランティアで考えたこと」等。	(4)準備するもの	1. 説明内容に関する資料(必須) A4サイズ2枚以内の配布資料で書式や字数は問いません。図や写真、イラスト等を入れてもかまいません。 2. アピール資料(任意) 設計作品や図面、デッサン、ポスターなど、アピールに必要なものを提示することが出来ます。ただし、大学ではパソコン等の機材は準備できませんので、必要な方は各自で機材を持参し、面接委員数人が「同時に見られる形で準備してください。	(5)面 接	自己アピールと別に面接(10分)を行います。
(1)テーマ	「建築と私」または「インテリアデザインと私」										
(2)時間配分	1. 受験者の持ち時間(3分以内) 2. 質疑応答(7分)										
(3)内 容	建築またはインテリアデザインに関することなら何でも結構です。自分の得意なこと、夢中になっていること、興味を持っていること、将来の夢などについて発表してください。また、それを大学での学習や卒業後の仕事においてどのように生かしたいかについても説明してください。例えば、「私の目指す建築家(技術者)像」、「私の好きな建築家(建築物)」、「私の好きなインテリアデザイン」、「私の考える災害に強い建築」、「私の考えるまちづくり」、「私の考える環境にやさしい建築」、「私の考える未来の建築」、「災害ボランティアで考えたこと」等。										
(4)準備するもの	1. 説明内容に関する資料(必須) A4サイズ2枚以内の配布資料で書式や字数は問いません。図や写真、イラスト等を入れてもかまいません。 2. アピール資料(任意) 設計作品や図面、デッサン、ポスターなど、アピールに必要なものを提示することが出来ます。ただし、大学ではパソコン等の機材は準備できませんので、必要な方は各自で機材を持参し、面接委員数人が「同時に見られる形で準備してください。										
(5)面 接	自己アピールと別に面接(10分)を行います。										